

# 陸前高田市 人口ビジョン及び 第2期まち・ひと・しごと総合戦略

～ ノーマライゼーションという言葉のいらぬまち 陸前高田 ～

< 概要版 >

2020年3月策定

## 1 人口ビジョンとは？

日本の人口は2008年をピークに減少しており、この人口減少は若年層の減少、高齢者層の増加を伴いながら加速度的に進行していくと推計され、経済活動や地域の集落機能の低下が危惧されています。

国は、将来にわたって活力ある日本を維持していくことを目指し、2014年に「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、国の人口の現状と将来の姿を提示する「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」と、今後の目標や施策の基本的方向をまとめた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を閣議決定しました。

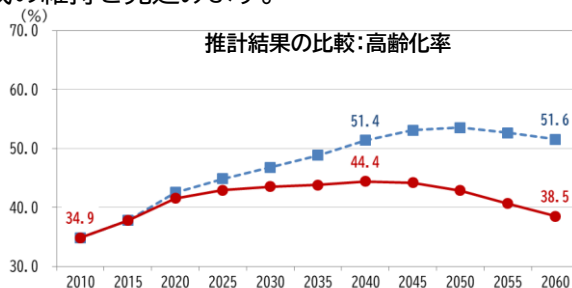
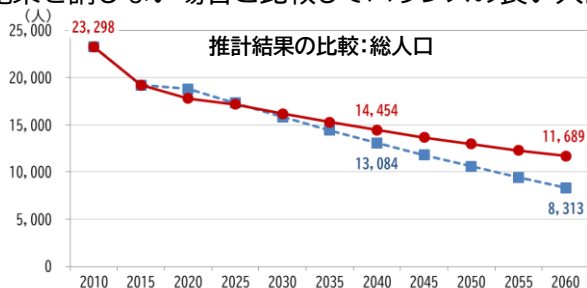
本市においては、**震災をきっかけとして、総人口が大きく減少するとともに高齢化率が高まっており、人口減少と少子高齢化への対策が喫緊の課題**となっています。

人口ビジョンは、これらの現状と国の長期ビジョン及び総合戦略を勘案し、復興事業が途上にある中で、本市における人口を中長期(2020～2060年まで)にわたって展望したうえで、今後目指すべき将来の方向を提示するものであり、2015年に推計を行い、今般、第2期総合戦略の策定に伴う時点修正を行いました。

## ○ 人口の動向

国立社会保障・人口問題研究所によると、本市の総人口は2010年の23,298人から、今後人口減少に対する施策を講じない場合、**2060年には約8,300人まで減少すると推計**されています。

第2期総合戦略を推進することで、2060年の人口は約11,700人、高齢化率も約39%と、人口減少に対する施策を講じない場合と比較してバランスの良い人口構成の維持を見込みます。



## ○ 将来の人口展望

以下4つの観点で将来に向けた取り組みを推進することにより、**2060年に市の人口11,700人を目指します。**

- ① 被災した市民の帰還・帰郷を促進する
- ② 復興とともに雇用の場づくりに取り組み、進学などで転出した若者の帰郷を促進する
- ③ 安心して出産・子育てできる環境を整えることで、出生率の向上を図る
- ④ 市内外の交流を促進し、陸前高田に関係を持つ「思民」を増やす

## ○ 人口の変化から見る地域の将来像

人口減少や少子高齢化が抑制されることで、地域の産業、生活に必要なサービス、対外的な交流など、様々な分野において、担い手を確保することができるようになります。

また、地域の様々な取り組みが維持・活性化されていくことで、次世代の若い人たちをはじめ、市民の誰もが生き生きと暮らす「ノーマライゼーションという言葉のいらぬまち」を創ります。

## 2 総合戦略とは

「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、地域の実情に応じた政策分野ごとの基本目標や施策の基本的方向、具体的な施策を市民、公共的団体、産業団体、大学、金融機関等の関係者の意見を反映しとりまとめたものです。

## 3 総合戦略の目的

人口ビジョンにおける人口の現状分析や将来展望を踏まえ、本市の強みを活かした目指すべき姿や基本目標を明確にするとともに、基本的な施策の方向や具体的な事業をまとめ、各事業を推進することにより「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立するとともに、将来にわたり活力ある「まち」を維持することを目的とし、以下に記載する4つの基本目標(①~④)の達成に向けた取組を推進します。

## 4 計画期間

2020~2024年度(令和2~令和6年度)までの5年間とし、今後の施策進捗状況や情勢の変化を考慮しながら、必要に応じて見直しを行うこととします。

## 5 目標管理と効果検証

総合戦略では、分野ごとに講ずべき具体的な施策を示すとともに、各施策の成果を客観的に評価するための成果指標(KPI)を設定します。また、成果の検証については、PDCAサイクルにより、内部評価を行うほか、外部評価者組織による検証も実施します。



### 基本目標①

陸前高田への新たなひとの流れを創造し、「しみん」が集うまちをつくる

#### 基本施策

- ① 「陸前高田思民」の拡大と市民総活躍の環境づくり
- ② ふるさと「陸前高田」住みたいまち移住・定住支援プロジェクト

#### 具体的な施策

- (1) 交流人口の拡大及び関係人口の創出  
【KPI】 思民交流事業開催数(累計)  
0回 → 5回
- (2) 友好都市との交流や都市間交流の促進  
【KPI】 友好都市等交流事業開催数(累計)  
15回 → 20回
- (3) 移住・定住の促進  
【KPI】 U・Iターン者数(累計)  
55人 → 100人

### 基本目標②

若者や女性が活躍できるしごとの創出につなげ、これを支える人材を育て活かす

#### 基本施策

- ① 陸前高田まるごとブランド化戦略
- ② 起業家・新規事業者応援・育成プロジェクト

#### 具体的な施策

- (1) 地域の特性を活かしたブランド化推進  
【KPI】 市外における地場産品の新規販売拠点数(累計)  
0拠点 → 10拠点
- (2) 新たな観光資源の活用と既存観光資源の磨き上げ  
【KPI】 観光入込客数  
871,281人 → 1,000,000人
- (3) 起業家の育成と雇用を生み出す新規事業への支援  
【KPI】 新規雇用者数(累計)  
56人 → 350人  
【KPI】 市内における起業家の創出件数(累計)  
0件 → 5件

## 6 「まちづくり総合計画」との関係

本市の「まちづくり総合計画(2019～2028年度)」は、「夢と希望と愛に満ち 次世代につなげる 共生と交流のまち 陸前高田」を将来像に掲げ、市政全般にわたる政策や施策の基本的な方向を総合的かつ体系的に定めている計画です。これに対し、本戦略は、国の「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案し、人口減少に歯止めをかけることを目的に策定するものであり、**市政全般を対象とした「まちづくり総合計画」の人口減少対策に関係する分野を推進するための戦略**と位置づけており、策定においては、総合計画や各種計画との整合を図るものとします。

## 7 総合戦略を進める上で重視する視点

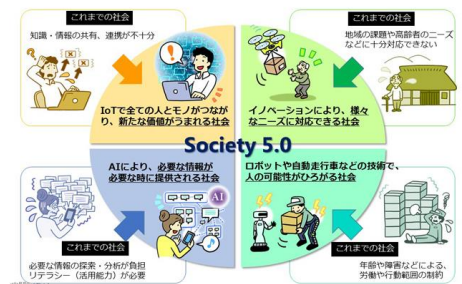
### (1) 総合戦略と一体となったSDGs(持続可能な開発目標)の推進

SDGs(持続可能な開発目標)は、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のための2016年から2030年までの17の国際目標であり、人口減少に歯止めをかけ、本戦略を推進していく上で重要な視点です。



### (2) Society5.0の実現に向けた技術の活用

ビッグデータやAI、自動運転等、様々な技術の活用は、時間や地域の制約を超え、地方の可能性を広げるものであるため、本戦略においては、Society5.0の実現に向けた技術を各戦略の取組に積極的な活用を進めていきます。



## 基本目標③

結婚・出産の希望をかなえ、子育てを協働で支える環境と、誰もが活躍できる地域社会をつくる

### 基本施策

- ① たかたっ子、子育てサポート体制づくり
- ② 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の確立
- ③ 誰もが活躍できる地域社会をつくる

### 具体的な施策

- (1) 子育て環境の積極的支援  
【KPI】 出生数 94人 → 110人
- (2) 保育サービスの充実  
【KPI】 待機児童数 0人 → 0人
- (3) 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進  
【KPI】 仕事と生活の調和に関する講演会等の参加者数(累計) 0人 → 100人
- (4) 共生・協働のまちづくりの推進  
【KPI】 就労困難者就労者数(累計) 6人 → 25人  
【KPI】 協働によるまちづくりに関する研修会等の開催数 0回 → 2回

## 基本目標④

市民の安心につながる時代に合った暮らしやすいまちをつくり、地域と地域を連携する

### 基本施策

- ① 持続可能な公共交通システムの構築と安全安心なまちづくり
- ② 地域と地域を連携する

### 具体的な施策

- (1) 新たな公共交通ネットワークの構築  
【KPI】 市内を運行する公共交通の利用者数 18,000人 → 18,000人
- (2) 観光地における2次・3次交通の構築  
【KPI】 中心市街地と観光地等を結ぶ2次・3次交通の結節点の整備箇所数 0箇所 → 1箇所  
【KPI】 電動原付バイクやEVレンタカー、レンタサイクルなどの利用者数 0人 → 10,000人



安定した「しごと」の確保で、若い世代が結婚・出産に対して前向きに考えられる

## たかたで「働く」

若者や女性が活躍できるしごとの創出につなげ、これを支える人材を育て活かす



地域全体で子育てを支え、子どもが健やかに成長できる社会をつくる

## たかたで「育てる」

結婚・出産の希望をかなえ、子育てを協働で支える環境と、誰もが活躍できる地域社会をつくる

## たかたに「住む」

市民の安心につながる時代に合った暮らしやすいまちをつくり、地域と地域を連携する

## たかたに「集う」

陸前高田への新たなひとの流れを創造し、「しみん」が集うまちをつくる

交流の場の創出により「ひと」の流れが生まれ「ひと」の流れによって「しごと」が生まれる



住んでよかった、住みたくなる「まち」づくりにより「ひと」の流れが生まれる



～ノーマライゼーションという言葉のいらないまち 陸前高田～

